

書道家高橋卓也君は日の丸と雪だるまをイメージした書を披露



上村愛子さんがキター 夏油高原スノーパーク 設営事業イベント

上村愛子選手トークショーは5日、さくらホールで行われました。これは夏油高原スノーパーク設営事業の一環として実施されたもの。約1,000人の来場者の中、進行役に宮嶋泰子さん(テレビ朝日アナウンサー)と地元更木町の海野三枝さんとでオリンピック秘話やスキー上達法などが話されました。

上村さんは「スキー場へ遊びに行っ

トークショーで来場者の声援に手を振って応える上村さん(中央)



笑顔の素敵なお村愛子さん
長野からバンクーバーまで冬季オリンピック女子モグール競技に出場、4期連続入賞を果たしました

てほしい。自然の音を聞くだけでも良い気持ちになる。気持ちのいいスキーをしてください」と呼び掛けました。また、冒頭には同事業のロゴの制作を手掛けた高橋卓也君(盛岡市)が「上村愛子」の書をステージ上で書き上げ披露しました。



ski教室の最後は参加者全員での全体滑走先頭が上村さん)

翌6日には、キッズski教室with上村愛子が夏油高原スキー場で行われ、小学4～6年生40人が参加、クラスごとに指導しました。参加した菊池遥さん(和賀西小4年)は「すごく速くてびっくりした。前に体重を乗せ、曲がる時は谷足のスキーにしっかり乗ることを教わった」と教室終了後、早速練習にゲレンデへ向かっていました。



初級、中級、上級の各クラスごとに実際に滑って子どもたちを指導しました

心の鬼を退治したヨ!

第11回遊鬼まつり

第11回「遊鬼(ゆき)まつり」(北上商工会議所青年部主催)は3日、市内の幼稚園・保育園7園で行われました。市立江釣子幼稚園には長男鬼太郎ら7人が登場。鬼太郎は「心の鬼を退治してください」と園児たちを励まし、トークや豆まきなどを通して交流しました。

園児から「どうやって来たの」のするどい突っ込みに鬼たちもたじたじ。千葉瑞希ちゃん(6才)は「優しい鬼さんと遊べてとても楽しかった。心の泣き虫鬼を退治したよ」と、元気いっぱいでした。

鬼たちとの豆まきで大はしゃぎ。鬼が大好きな園児たちです



「ゲレンデチューブソリレース」では雪に足を取られながらも果敢に挑戦!

雪に親しみ雪を楽しむ

第8回ふるさと雪っこまつり

ふるさと雪っこまつり(和賀地区自治協議会主催)は1月30日、ふるさと体験館「北上」を主会場に行われました。この行事は、地域の再発見とコミュニティ醸成の場として2004年から始まりました。ステージ発表やスノーフラッグ、打ち上げ花火などが行われ約1,200人が冬の1日を楽しみました。兄妹でソリレースに参加した小田島和也君(和賀西小2年)は「押すので疲れた」、千奈さん(同1年)は「ドキドキしたけど楽しかった」と二人とも息をはずませていました。

百歳を迎えおめでとう

齋藤サヨさん

和賀町長沼の齋藤サヨさんが百歳を迎え15日、伊藤市長が訪問して祝い状と記念品を贈りました。

齋藤さんは明治44年2月15日生まれ。22歳で故甚五郎さんと結婚し、子ども7人、孫15人、ひ孫21人に恵まれ、現在も自宅で訪問介護を受けながらも元気に生活しています。長男の福美さん(神奈川県)は「父が仕事の関係で留守なため、女手一つで育ててくれた。本当に苦勞した」と感慨ひとしお。齋藤さんは「皆さんののおかげでここまで来た」と感謝でいっぱいでした。

市長や子、親類に囲まれ、たくさんのお祝いを受け喜ぶ齋藤さん(中央)



「今年は例年より雪が多い」とスノーダンプを握る手にも力が入ります

雪かき援助ありがとう

除雪ボランティア

除雪ボランティアは5日、市内の一人暮らしの高齢者など141世帯を訪問、住宅周辺にたまった雪の除雪作業を行いました。北上市建設業協会が地域福祉活動の一環として2000年から実施しているもので、今回は53社約200人のボランティアが参加しました。

岩沢の佐々木ちとせさん(84歳)宅へは8人のボランティアが軒先までたまった雪の除雪にあたりました。佐々木さんは「首を長くして待っていた。涙が出るほどありがたい」と感謝の気持ちでいっぱいでした。

幽玄の世界へいざなう

展勝地 冬の火まつり

展勝地冬の火まつりは19日・20日の両日、桜並木、レストハウスを中心に行われました。冬の展勝地の美しさを市民に知っていただき、市民の交流の場として市がふるさと雇用再生特別基金事業を利用し、(株)展勝地に委託して今回初めて実施したものです。

野外特設舞台では芸能公演やもちつきなどが行われたほか、桜並木からレストハウス・陣ヶ丘斜面には500基の行灯が設置。冬の展勝地がほのかな明かりに包まれ、幻想的な世界が醸し出されていました。

陣ヶ丘の斜面に設置された行灯の光が芸能公演を幻想的に映し出します



絶妙なバランスで妙技が披露されるたび大きな歓声が沸き起こった秋田竿灯

冬でも「鬼よ燃えろ！」

冬のみちのく芸能まつりPart 2

民俗芸能発表会「鬼よ燃えろ！冬のみちのく芸能まつりPart 2」(地域伝統文化総合活性化事業：文化庁・北上市文化財活性化実行委員会主催)は13日、さくらホールで開催。県内外から25の芸能団体が出演、約1,200人がその舞を堪能しました。

冬の一大イベントとして昨年からは実施。来場した菅野松市さん(口内町)は「普段見ることのできない芸能が見られて良かった。竿灯の差し手のバランスが素晴らしい。感動した」と興奮冷めやらぬ様子でした。